

平成29年度学校自己評価 1学期

中津市立三郷小学校

学校の教育目標	みずから進んで学び さいごまでやりぬき ともだちと仲良くする
重点目標	○基礎基本の定着と活用力の育成
	○認め合う力の育成
	○進んで健康な体をつくる子の育成

評価判断基準	
A	達成率90～100%
B	達成率70～89%
C	達成率60～69%
D	達成率60%未満

重点目標	達成指標	達成指標 評定	重点的取組	取組指標	項目 評定	取組 指標 評定	総合 評定	成果・課題及び具体的取り組み	担当
基礎基本の定着と活用力の育成	○学期ごとのまとめのテストで、以下の点数を各学年児童割合80パーセント以上にする。 ・85点以上（低） ・80点以上（中） ・75点以上（高） ○中津市学力状況調査で評定1の児童を半減する。	B	学校	○自分の考えを持ち、伝え合う児童主体の授業の徹底。（教科の内容の習得・自己決定・自己存在感・共感的人間関係の面から）	○「課題」や「まとめ」等の板書カードを必ず位置づけることで、見通しを持った授業を徹底する。 ○話し合う視点を与えてペア・グループ学習を1時間の中で必ず取り入れる。	B	B	○授業の内容によってペア全体を取り入れる時とそうでない時があったが、自分の考えを持たせることを意識して取り組むことができた。 △まだ、出し合いの段階である。 ☆新大分スタンダードに基づく授業改善を確実に進めていく必要がある。（主体的学び・つけたい力の見取り等） ○家庭学習の定着については各学年とも児童の実態に応じた指導が行われ、概ねできている。 ☆宿題の取り組みと平行して、自学の取り組みを全体の取り組みとし、週末の一日は自学に取り組みを行う。 ○外部講師の方の励ましによって、発表の場に慣れてきた。 ☆2学期は、機会あることに児童への指導を繰り返す。 ・自分の言葉で ・相手意識、目的意識をはっきりと	宇都宮
			家庭	○家庭学習の徹底・習慣化	○毎日、子どもに家庭学習をやったか家庭学習確認の声かけをする。 ○毎月の「家庭学習チェックシート」の保護者の感想の欄には、子どもを励ます取り組みの感想を書く。	A			桑原
			地域	○積極的な学校支援	○なかつかすくプロジェクトの地域住民による学校支援活動での体験活動や学習発表の場の設定をする。 ○放課後子ども教室に参加する児童には、教室で毎回感想を発表させ、ほめる。 ○学校公開日(参観日など)行事へ積極的に参加し、学校の取組について感想などを述べる。	A			賀末
認め合う力の育成	○自己評価アンケート（児童・保護者・教職員・見守り隊）で「笑顔であいさつができた」と回答した割合を85%以上にする。	B	学校	○あいさつ運動の推進。	○児童会が主体となり、児童からあいさつの輪が広がる「あいさつの木」に継続して取り組む。	B	B	○下校時のあいさつを意識する声かけを行い、あいさつができるようになってきた。 ○6月の「あいさつ広げ隊がんばりカード」での各家庭での取り組みを『あいさつたより』として保護者に返していくことができた。 ○あいさつがんばり週間には、毎日カードを出してもらい、保護者に意識してもらうことができた。 ☆毎月の児童集会で、見つけた友だちの良さやがんばりを発表させる。 ☆月1回子どもたちのつながりを深める参加体験型学習を取り入れる。	河野誠
			家庭	○家庭内でのあいさつの励行	OPTA保体校外指導部会を中心にしたあいさつ運動に参加する。 ○毎朝、親から「おはよう」とあいさつをする。 ○学期に2回の「あいさつ広げ隊がんばりカード」に取組の感想を書く。	B			森元
			地域	○あいさつ・声かけ運動の推進	○登下校時に子どもを見かけたら、あいさつや言葉かけをするようにする。 ○地域での子どもたちの様子について、学校に伝える。	A			宮地
進んで健康な体をつくる子	○体力テスト8項目中4項目が向上した児童を80%にする。 ○児童アンケートで「休み時間によく運動場や体育館で体を動かして遊んだ」と回答した割合を90%以上にする。 ○児童アンケートで「就寝時刻を意識できる児童割合80パーセント以上にする」。 ・9:00（低） ・9:30（中） ・10:00（高）	B	学校	○授業の始まりに学年の学習内容や発達段階に応じたサーキットトレーニング・エクササイズの実施。	○体力テスト実施後、得意、不得意の項目を意識しエクササイズの意欲付けのため、各学年の県平均を記録用紙に載せることで、自分の記録と比較する場を設定する。	B	B	○体力テストの各クラスの結果集約・分析の結果、学校全体としては、50m走、立ち幅跳び、長座体前屈、ソフト投げに課題があることがわかった。 ☆体力テストの課題を補うためのエクササイズやスポーツの日を効果的に実施していく。 ○睡眠の大切さについて、「学校だより」「保健だより」を活用して子ども・保護者向けの啓発を行ったので、就寝時刻を守ろうとする意識は育ってきている。 △決めた就寝時刻がなかなか守れていない家庭への働きかけが十分できなかった。 ☆7月の守れなかった理由の「土日が遅くなる」については、子どもたちが工夫できる部分があると思うので、保健だよりでも工夫を呼びかけていく。	金山
			家庭	○自分ができるだけよい体調で過ごせる健康・生活リズムの習慣化。	○毎日、家庭で決めた就寝時刻を厳守させる。 ○毎月の「チェックシート」の保護者欄には、子どもを励ます取り組みの感想を書く。	B			今井
			地域	○学校の体育的行事への積極的な参加	○運動会・持久走大会など学校の体育的行事には積極的に参加する。				金山